



日本共産党 週刊県議会ニュース

2022年10月30日 No.1160

さら とみ ひこ

吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878  
荻野事務所 846-2046  
県議会控室 823-9524

# 生活保護制度運用改善し 酷暑から命と健康を守る 意見書提案し可決される!

## 夏季加算要求の 代表質問が生きる

● 9月議会での代表質問で米田議員は、新たに生活保護を受ける世帯はエアコン購入への支給があるが、従前からの世帯にはないことを指摘。「平成30年3月31日以前から、生活保護を利用している世帯や低所得世帯を含めて対象にしている境港市や名古屋市、東京都荒川区など自治体でエアコン購入に独自に助成、支援するところが広がっています。」とのべ、高知県も、市町村と協力してエアコン設置への新たな支援制度を創設するように求めるとともに、エアコンの電気代などに対する夏季加算も要望していました。

● 知事は、近年、熱中症による健康被害が心配される状

況にあり、エアコンの使用は命を守るためにも大変重要だと述べるも、従前どおりの「社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付制度」利用を促す答弁にとどまりました。

● 党県議団は、国に対して、エアコン購入費と夏季加算を求める「酷暑から命と健康を守る生活保護制度の運用改善を求める意見書」を提案、全会一致で採択可決されました。

### 学生支える県政必要

高知県議会 塚地氏が求める

日本共産党の塚地佐智・高知県議は4日、県議会で一般質問に立ち、コロナ禍での学生への支援などを取り上げました。

体調不良の学生の自宅まで食料を届ける日本民主青年同盟県委員会などによる「まんぷくEATS（イーツ）」の取り組みで、8月以降、コロナ感染で自宅療養する学生からの利用が急増。塚地氏は「1人ぐらしの学

しんぶん赤旗10月7日付より引用

生が孤立し、不安で深刻な状態で過ごしていることが明らかになった」と指摘し、「1人ぐらしだと看病してくれる人もいない、いつ治るか不安」などの学生の声を紹介しました。浜田省司知事は「大変に胸が痛む」と答弁。学生による食料支援の取り組みについて「大変にありがたいし、心強い」とのべました。

塚地氏は「ボランティア頼みでは限界がある」とのべ、大学でのコロナに感染した学生に対する支援体制を質問しました。岡村昭一文化生活スポーツ部長は「相談窓口の職員や担当職員らが連携し、情報を共有しながら、個々の学生に応じた支援の体制がとられている」と答弁。この支援は県立大学、県立高知工科大学へのもので、他の大学にはおよびません。塚地氏は、知事の方から、各大学に丁寧な学生への対応がとられるように要請することや、「県民全体で学生を支えていく県政を進めること」を求めました。

## 核兵器のない世界へ ウィーンからの報告 手をつなごう未来のために

— 核兵器禁止条約締約国会議報告会 in 高知 —

ロシアによる軍事侵襲によって核兵器が使用されることへの懸念が高まる中、6月にオーストラリアの首都ウィーンで、核兵器禁止条約締約国会議が開かれ、「核なき世界」の実現を目指す「ウィーン宣言」と、具体的な取り組みをまとめた「ウィーン行動計画」を採択して閉幕しました。

この核兵器禁止条約 初の締約国会議に参加した、ピースポート/議員ウォッチプロジェクト (代表・川崎哲) のメンバー二人が来高し、報告させていただきます。



採択された宣言 「すべての国が核軍縮と核兵器の拡散防止の責任を負う」

と き: 2022年10月30日(日) 午後2時~4時  
会 場: オーテピア高知4階(追手筋2丁目) **参加費無料**  
報 告: 高橋悠太さん(議員ウォッチ・KNOW NUKES TOKYO 共同代表)  
徳田悠希さん(議員ウォッチ・KNOW NUKES TOKYO メンバー)



高橋悠太さん



徳田悠希さん

※参加時には、マスクの着用等、コロナ感染対策にご協力ください。

主催: ピースポート/議員ウォッチ(代表・川崎哲)  
共催: 太平洋核被災支援センター・ピキニアー in 高知 2023 実行委員会

## ピキニ被災船員救済が 国際的課題となる!

● 10月30日(日) 午後2時~4時  
オーテピア高知四階

「核兵器禁止条約締約国会議報告会 in 高知」が開催されます。6月にウィーンで開かれた核兵器禁止条約締約国会議に参加した、高橋悠太さん(議員ウォッチ・KNOW NUKES TOKYO 共同代表)と、徳田悠希さん(議員ウォッチ・KNOW NUKES TOKYO メンバー)が報告します。私も高知県議会での論議を報告する予定です。ぜひご参加ください。